

ご挨拶

やすむいおんぎょく

# 安村凰玉

国際居合道連盟理事  
国際居合道連盟 鵬玉会 副長  
技術指導委員長

ご紹介

錬士六段の師範。国際居合道連盟鵬玉会 理事、関東ブロック長、技術指導委員長。京都武徳殿で行われた、第4回全日本居合道選手権大会では、三連覇を狙う栗木長野支部長を退け、優勝した。2020年、月刊秘伝「女子武道家名鑑」に居合からただ一人選ばれた。2021年、形／自由組太刀／試し斬りの全日本3大会を制し、初のグランドスラム達成者となった。

10年間

あの戦いは誠であつたと誇りが持てる戦いを

## 10年に感無量の思い

記念すべき第10回目の全日本居合道選手権大会形開催、誠におめでとうございます。この10年間を振り返ると、様々な記憶が蘇り感無量の思いでいっぱいです。

2017年の第1回開催以来、コロナ禍という困難もありましたが、一度も中止をすることなく、こうして今日を迎えられましたのは、ひとえに皆様方の温かいご支援とご協力の賜物です。第1回目は小学校の体育館で開催。誰も運営など知らない状態で手探りの中でスタートでした。試合進行、審判、撮影、全くのゼロです。荷詰めから何からボツンと神田道場で作業していたのが遠い昔のようです。

## 日野ブロック長の提案だった

ある時、日野鬼鳳九州ブロック長の「鵬玉会のブランド力をもっと上げよう、最高峰である京都武徳殿で開催してはどうか」という提案に「それはすごい！やりたい！」とその場にいた全員が沸き立ちました。日野さんが人脈を駆使してくださり遂に実現しました。

くろ谷金戒光明寺の橋本執事長、京都新選組同好会の横田先生、多くの方々が応援してくださいました。

会の中では運営に協力してくださる方が1人増え2人増え、今ではチームで大会を支えています。今日ここでの規模で大会ができるのは決して当たり前ではありません。

## 勝って驕らず、負けて腐らず

武道の神髄は、単に勝敗を決することにあらず、「己の弱さに打ち勝つ『克己』の精神にあります。10年後、第20回を迎えるときには、きっと今日この日を思い返すでしょう。

その時に、あの戦いは誠であつた、と自分に誇りが持てる試合をしてください。この晴れ舞台において、一瞬の隙も、一点の曇りもない技を繰り出してください。勝って驕らず、負けて腐らず。積み上げてきたすべてを信じ、正々堂々と戦い抜くことを期待します。

